

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1  
TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz  
毎週月曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

## ◎区民のページ 2007・3



まちの人



道内の女子高校生で初めて  
二級電子機器組立て技能検定  
に合格した

しづや なお  
**渋谷 奈緒**さん(18)

○二級電子機器組立て技能検定とは  
厚生労働省が所管する技能の国家検定の  
一つ。実技試験は、制限時間内に電子部品  
のはんだ付けや配線作業を行い、課題を設  
計図どおりに組み立てる。作業の正確さと課  
題の完成度の高さが合格の決め手となる。



■部品をはんだ付けしている渋谷さん

「合格できたのは、先生や仲間の支えがあったから」と控えめに話しますが、約四カ月間で三百時間を超える実技練習をしたといいます。実習室の隅にあるダンボール箱には、練習で結んだ配線がぎっしり詰まっています。それは同じ検定を受けて一緒に合格した二人の仲間とした練習の跡。「体育会系の部活動よりも練習量はきついかもしれない」と指導担当の小川教諭は

## 使う人に喜ばれるものを作りたい

話します。  
幼いころから工作機械や工具が身近にある環境で育った渋谷さんは、ものを組み立てて遊ぶことが好きで、小学生のときにはミニ四駆などを作って遊んでいました。  
電子機器に興味を持ったのは、中学生のとき、同校の体験入学でマイコンカーを見てから。その複雑な構造や組み立て技術に心が引かれ「この技術を身に付けたい」と思い、進学を決めました。  
小川教諭に勧められ、検定の練習を始めたのは昨年の三月から。初めは、ねじを強く締め付けることができず悩んだといいます。そんなとき「大切なことは使う人に喜ばれるものを作る」と教えられる。使う人の気持ちを意識して練習に励み、合格を手に入れました。  
四月からは、コンピュータ制御など実践的な技術を習得するため、道立札幌高等技術専門学院へ進学の予定です。  
今後の目標は「技能五輪全国大会に出場すること」と話す渋谷さん。「大会に出られるよう技術レベルを上げて、先生に恩返しをしたい」と張り切っています。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがきファックスEメール [nishi@city.sapporo.jp](mailto:nishi@city.sapporo.jp) で西区総務企画課広聴係(上欄)へ。